

日本におけるパーソンセンタード・アプローチの発展 —文献史を中心に—

The Development of Person-Centered Approach in Japan: Through Publication Review

坂 中 正 義

Masayoshi SAKANAKA

要 旨

本研究の目的は、日本におけるパーソンセンタード・アプローチの展開について文献を中心に振り返り、その足跡を提示することである。

そのため、筆者がこれまでに発行してきた文献リスト（最新は坂中, 2014）をもとに「クライアント中心療法」「ベーシック・エンカウンター・グループ」「フォーカシング・体験過程療法」「その他」の領域ごとの発行文献数の推移を検討し、10年ごとの注目すべき動向をその年代の代表的文献を中心に概観した。

その結果、関連文献数は7130篇（クライアント中心療法=3230, ベーシック・エンカウンター・グループ=1749, フォーカシング=1849, その他=302）にのぼり、文献史からみても、1950年代から今日に至るまでの半世紀以上の間、パーソン・センタード・アプローチはわが国にしっかりと定着し、かつダイナミックに発展してきたことが明らかとなった。

はじめに

クライアント中心療法が、日本に紹介されて半世紀以上経っている。その間、このオリエンテーションは、心理臨床やカウンセリングの世界に大きな影響を与えてきた。関連文献も多く発行されている。創始者 C. R. Rogers の全集である『ロージャズ全集』は、1966年よりわが国で世界に先駆けて刊行されている。これらの文献を体系的にレビューすることで、わが国におけるこのオリエンテーションの現在までの道のりが明確になり、さらなる展開のための手がかりが得られるであろう。

本論では、このような問題意識に立ち、筆者が作成した一連の文献リスト（最新は坂中, 2014）にもとづき、日本におけるパーソンセンタード・アプローチの文献を中心に振り返り、その展開の

足跡をたどる。

文献の集約

筆者がこれまでに発行してきた文献リストに収録されている文献を「クライアント中心療法」「ベーシック・エンカウンター・グループ」「フォーカシング・体験過程療法」「その他」の領域別に、それぞれ、「書籍：単行本」「書籍：章」「論文：特集」「論文：一般」「翻訳：単行本」「翻訳：章」「海外文献紹介」「書評」別にカウントした。なお、「学会発表」については、収集した文献に相当の不備が予想されるため割愛した。その結果、7130篇（クライアント中心療法=3230、ベーシック・エンカウンター・グループ=1749、フォーカシング=1849、その他=302）となった（2014年2月10日現在）。それらを10年ごとにまとめ、一覧表にしたものがtable 1である。なお、2010年以降は集計せず、そのまま掲載した。

以下、10年ごとに注目すべき動向をその年代の代表的文献を中心に概観する。

1. 1950年代まで：日本におけるクライアント中心療法の黎明期

日本へのクライアント中心療法の導入をめぐる史実については割愛するが（後述の文献等を参照のこと）、導入に大きく貢献した1人である友田氏については文献史的にも注目すべきものがある。ロジャーズ（1942）の本邦初の翻訳である『ロージャズ臨床心理学』、『ロージャズ選書』（編集翻訳、1955～1964のちの全集発行につながる）や『面接法の技術』（1952）、『カウンセリングの技術』（1956）の刊行など、精力的に活動している。1955年には大甕で「第1回カウンセリング研究討論会」（大甕ワークショップ）も開始され、これらの文献とあわせて、日本におけるクライアント中心療法の紹介に大きく貢献していった。

2. 1960年代：普及の時期

1961年、ロジャーズが来日し、各地でワークショップを行った。さらに前述の『ロージャズ全集』（編集翻訳、1966～1972）の刊行がはじまった。これらのことから当時の日本におけるクライアント中心療法の影響力の大きさがうかがえる。文献的には他にもアクスライン（1947）の翻訳である『遊戯療法』（1961）、「カウンセリング論集」（編集翻訳、1960～1965 ジェンドリンの論文が含まれる）、ジェンドリン『体験過程と心理療法』（編集翻訳、1966）など、関連領域の翻訳や、伊東（1966）『カウンセリング入門』などの入門書が公刊されている。また、研究論文の増加もこの時期の特徴である。

3. 1970年代：クライアント中心療法の定着とエンカウンター・グループの黎明期

雑誌『教育と医学』（1970）「特集・来談者中心療法」、日本相談学会編（1971）「特集：来談者中心療法ケースレポート」などの特集や、田畑ら編（1977）『来談者中心療法』などの概論書に加え、飯塚・関口編（1977）『カウンセリング代表事例選』といった事例集や村山（1971）『クライアント中心療法の臨床的適用』といった専門書など多岐にわたる関連文献が公刊されている。わが国におけるクライアント中心療法が様々なレベルで定着してきた時期である。

一方、畠瀬氏や村山氏がロジャーズのもとへ留学し、日本にベーシック・エンカウンター・グルー

table 1 日本におけるパーソンセンタード・アプローチに関する発行文献数 (2014.02.10 現在)

		50-59	60-69	70-79	80-89	90-99	00-09	2010	2011	2012	2013	合計	
クライエント中心療法 (含:基礎概念)	書籍:単行本	9	48	29	22	35	22	2	1	0	0	168	
	書籍:章	8	36	90	68	229	87	0	4	30	0	552	
	論文:特集	0	1	11	34	12	27	2	1	2	0	90	
	遊戯療法も含む	論文:一般	5	159	181	378	460	607	54	45	69	18	1976
		翻訳:単行本	4	11	6	7	1	22	2	0	1	1	55
		翻訳:章	0	147	9	15	19	60	0	2	2	0	254
		海外文献紹介	0	0	0	0	1	10	0	0	0	1	12
		書評	0	3	2	13	21	70	4	1	7	2	123
合計		26	405	328	537	778	905	64	54	111	22	3230	
ベーシック・エンカ ウンター・グループ (含:グループカ ウンセリング)	書籍:単行本	1	1	1	3	7	6	1	2	1	0	23	
	書籍:章	0	2	23	31	59	18	0	0	10	0	143	
	論文:特集	0	0	3	1	9	6	0	0	0	0	19	
	論文:一般	0	3	158	453	437	358	45	21	14	7	1496	
	翻訳:単行本	0	0	7	2	1	4	0	0	0	0	14	
	翻訳:章	0	0	1	2	3	8	0	0	0	0	14	
	海外文献紹介	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	
		書評	0	0	2	3	16	13	0	3	1	0	38
合計		1	6	195	496	533	413	46	26	26	7	1749	
体験過程療法 フォーカシング (含:体験過程の 基礎概念)	書籍:単行本	0	1	0	2	10	14	2	0	0	1	30	
	書籍:章	0	0	7	9	54	25	0	1	21	0	117	
	論文:特集	0	0	0	1	3	26	1	0	1	0	32	
	論文:一般	0	0	25	163	319	738	56	81	83	47	1512	
	翻訳:単行本	0	0	0	2	6	13	1	0	0	0	22	
	翻訳:章	0	7	9	11	6	10	0	1	3	3	50	
	海外文献紹介	0	0	1	2	2	1	0	0	2	0	8	
		書評	0	1	1	5	22	34	8	5	1	1	78
合計		0	9	43	195	422	861	68	88	111	52	1849	
その他 (教育・経営など)	書籍:単行本	0	4	4	0	1	6	1	1	3	0	20	
	書籍:章	0	2	0	2	11	4	0	0	11	0	30	
	論文:特集	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	3	
	論文:一般	0	5	19	29	35	79	24	11	4	3	209	
	翻訳:単行本	0	1	1	4	0	4	0	0	1	0	11	
	翻訳:章	0	4	1	1	1	9	0	0	0	0	16	
	海外文献紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		書評	0	0	0	2	0	7	0	1	1	2	13
合計		0	17	25	38	48	109	26	13	21	5	302	
総計		27	437	591	1266	1781	2288	204	181	269	86	7130	

注) データは坂中による一連の「日本における『来談者中心療法』及び『体験過程療法』に関する文献リスト」シリーズによった。なお、学会発表は割愛した。

ブを紹介したのもこの時期である。文献的にも、ロジャース（1970）の翻訳である『エンカウンター・グループ』（1973）や、村山編（1977）『エンカウンターグループ』が刊行されている。1970年には、エンカウンター・グループ実践のための「人間関係研究会」が発足し、これらの文献とあわせて、日本におけるエンカウンター・グループの紹介に大きく貢献していった。

なお、1978年、ジェンドリンが初来日している。

4. 1980年代：ロジャースとの別れ、エンカウンター・グループの普及、ならびに、フォーカシングの黎明期

1983年、ロジャースが再来日し、その記録として、畠瀬ら編（1986）『カール・ロジャースとともに』が刊行された。また、後期ロジャースの文献である『人間の潜在力』（1980）、『結婚革命』（1982）、『人間尊重の心理学』（1984）、『新・創造への教育』（1984）の翻訳もこの時期であった。これらは、パーソンセンタード・アプローチの広がりへの紹介に貢献している。

1987年のロジャース死去の折には、人間関係研究会編（1987）『カール・ロジャース追悼号』、日本カウンセリング学会編（1988）「特集：カール・ロジャース」が刊行された。

エンカウンター・グループに関しては、この時期、様々な実践が積み重ねられ、その事例報告が著しく増加している。

一方、フォーカシングに関しては、ジェンドリンの『フォーカシング』（1982）などの翻訳や、村山他（1984）『フォーカシングの理論と実際』が刊行された。1982年には日本フォーカシング研究会も発足し、これらの文献とあわせて、日本におけるフォーカシングの紹介に大きく貢献していった。1987年、ジェンドリンが再来日している。

5. 1990年代：クライアント中心療法の再検討とエンカウンター・グループの定着、フォーカシングの普及期

日本人間性心理学会編（1992）「特集：クライアント中心療法の新しい展開とその課題」、人間関係研究会編（1992）「特集：わが国における来談者中心療法の発展と評価」、こころの科学（1997）『特別企画：ロジャース』、田畑編（1998）『クライアント中心療法』、久能ら（1997）『ロジャースを読む』、久能（1996）『ロジャースとロジャーリアン』、岡村（1999）『カウンセリングの条件』など、学会、団体、研究者様々なレベルでのクライアント中心療法の再検討に関わる文献が公刊された。

エンカウンター・グループに関しては、前述の導入に貢献した両氏の研究・実践をまとめた、畠瀬（1990）『エンカウンター・グループと心理的成長』、村山（1993）『エンカウンターグループとコミュニティ』や人間関係研究会設立20周年、30周年を記念した村山ら編（1991）『エンカウンター・グループから学ぶ』、伊藤ら編（1999）『パーソンセンタード・アプローチ』が刊行された。

フォーカシングに関しては、前述のジェンドリン再来日時の記録でもある村山編（1991）『フォーカシング・セミナー』、ジェンドリンの『体験過程と意味の創造』（1993）や『フォーカシング指向心理療法』（1998）の翻訳、村山編（1999）『フォーカシング』などの概論書などが刊行された。1997年には日本フォーカシング研究会が日本フォーカシング協会に発展し、文献とあわせて、日本におけるフォーカシングの普及に大きく貢献していった。また、この時期に3度来日しているコーネルの文献（『フォーカシング入門マニュアル』1996など）が多数翻訳されたことも1990年代の特徴といえる。

6. 2000年代：新たな視点も加わったロジャーズ・ルネッサンスとフォーカシングの発展期

2002年はロジャース生誕100周年であった。

氏原ら編（2000）『ロジャーズ再考』、村山編（2003）『ロジャース学派の現在』など、90年代からのロジャース再検討の流れは継続している。

加えて、カーシェンバウムら編（1989）の翻訳である『ロジャーズ選集』（2001）、ロジャーズ主要著作集として新訳されたロジャーズ（1942）『カウンセリングと心理療法』（2005）、同（1951）の『クライアント中心療法』（2005）、同（1961）の『ロジャーズが語る自己実現の道』（2005）、ロジャーズら（1994）の翻訳である『学習する自由（第3版）』（2006）、アンダーソンら編（1997）の翻訳である『ブーバー ロジャーズ 対話』（2007）といったロジャーズ文献の新訳や新版と共に、ロジャーズ研究をテーマにした書籍の翻訳（ソーン、1992、ロジャーズら、2002）も刊行された。あわせて、日本カウンセリング・センター編（2009）『友田不二男研究』や近藤ら編（2007）『臨床家 佐治守夫の仕事』といった黎明期の中心人物に関する文献も発刊されている。

また、新たな流れとして、メアーンズ（1994）の翻訳である『パーソンセンタード・カウンセリングの実際』（2000）や、メアーンズら（1988）の翻訳である『パーソンセンタード・カウンセリング』（2000）、パートン（2004）の翻訳である『パーソン・センタード・セラピー』（2006）、サンダースら編（2004）の翻訳である『パーソンセンタード・アプローチの最前線』（2007）、チューダーら（2002）の翻訳である『ロジャーズ辞典』（2008）、プラウティ（1994）の翻訳である『プリセラピー』（2001年）といったイギリスを中心とする新しいロジャーズ派カウンセリングの翻訳の刊行もこの時期にはじまった。

フォーカシングにおいても、コーネルをはじめ、ヒンターコッフ（『いのちとこころのカウンセリング』2000）、クライン（『インタラクティヴ・フォーカシング・セラピー』2005）、フリードマン（『フォーカシングとともに』2004）、マケベニュー（『ホールボディ・フォーカシング』2004）といった様々な実践・研究者の翻訳が発刊され、活気がある。また、ジェンドリンの哲学的側面に焦点を当てた諸富ら編（2009）『ジェンドリン哲学入門』（2009）なども公刊されている。

関連して、ロジャーズ（1993）の翻訳である『表現アートセラピー』（2000）や小野（2005）『表現アートセラピー入門』など、アートセラピーに関する文献も刊行されている。

その一方で、エンカウンター・グループに関しては、博士論文の出版がいくつかみられるものの、発行数では前期よりも大幅に減少していた。

2000年代はグループよりも個人アプローチへの関心が高まっていた時期といえよう。

7. 2010年以降：パーソンセンタード・アプローチの拡張期？

いくつか異なった枠組みからのクライアント中心療法の再検討を試みた、岡村ら（2010）『カウンセリングのエチュード』、人間関係研究会設立40周年記念の伊藤ら編（2011）『パーソンセンタード・アプローチの挑戦』、吉良（2010）「セラピスト・フォーカシング」などのこれまでの中心的な流れを汲む文献と共に、アートセラピーに関わる文献（小野、2011、池見ら、2012）、スタベルツらの翻訳である『子ども達とフォーカシング』（2010）、畠瀬ら編（2012）「人間中心の教育」、村山ら編（2012）『新しい事例検討法 PCAGIP 入門』など、これまであまりみられなかったテーマに関わる文献も増えており、この広がりや2010年以降の動向かもしれない。

table 2 日本におけるパーソンセンタード・アプローチの展開

年代	発展の様相
1950年代	日本におけるクライアント中心療法の黎明期
1960年代	普及の時期
1970年代	クライアント中心療法の定着とエンカウンター・グループの黎明期
1980年代	ロジャーズとの別れ、エンカウンター・グループの普及、ならびに、フォーカシングの黎明期
1990年代	クライアント中心療法の再検討とエンカウンター・グループの定着、フォーカシングの普及期
2000年代	新たな視点も加わったロジャーズ・ルネッサンスとフォーカシングの発展期
2010年以降	パーソンセンタード・アプローチの拡張期？

おわりに

1950年代から今日に至るまでの半世紀以上の間、パーソン・センタード・アプローチはわが国にしっかりと定着し、かつ発展してきたといえよう。そのプロセスはダイナミックであった (table 2)。

ところで、ロジャーズについて、ここでの発展史の初期の理解に留まり、過去のものともみる人も未だにみうけられる。筆者のにとっては、ロジャーズの述べていることは「温故知新」「不易流行」という言葉につながる。基本的なこと、最重要なこと、ベースとなることは、様々な新しい経験や出会いの中で再発見され、深化する。個々人の中でのロジャーズの理解はそのようなものであって欲しいし、日本での発展をまさにそのようなプロセスであると理解している。人ごとでなく筆者自身もそうありたいと心がけていきたい。

なお、日本における来談者中心療法の動向に関しては、保坂・浅井 (2004) も参照されたい。また、導入初期の動向は安斎 (2001) や泉野 (2004) が詳しい。

付記

本論は、坂中 (2003) をベースに、内容の再検討や大幅な加筆修正を行ったものである。

文献

- Anderson, R. & Cissna, K. N. 1997 *The Martin Buber-Carl Rogers Dialogue: A New Transcript with Commentary*. the State University of New York Press. (山田邦男監訳今井伸和・永島 聡訳 2007 ブーバー ロジャーズ 対話—解説つき新版— 春秋社)
- 安斎順子 2001 日本の臨床心理学史—精神分析, ロールシャッハ, ロジャーズを中心に— 日本学術振興会「平成12年度科学研究費補助金 (奨励研究 B)」研究助成金課題研究
- Axline, V. M. 1947 *Play Therapy*. Houghton Mifflin. (小林治夫訳 1961 遊戯療法 岩崎書店)
- Cornell, A. W. 1994 *The Focusing Student's Manual. Focusing Resources*. (村瀬孝雄監訳 大澤美枝子訳 1996 フォーカシング入門マニュアル 金剛出版)
- Friedman, N. 2000 *Focusing: Selected Essays 1974-1999*. Xlibris Corporation. (日笠摩子 2004-2005 フォーカシングとともに [全3巻] コスモス・ライブラリー)
- Gendlin, E. T. 1962 *Experiencing and the Creation of Meaning*. The Free Press of Glencoe. (筒井健雄訳 1993 体験

- 過程と意味の創造 ぶっく東京)
- Gendlin, E. T. (村瀬孝雄編訳) 1966 体験過程と心理療法 牧書店
- Gendlin, E. T. 1978 Focusing. Bandam Books. (村山正治・都留春夫・村瀬孝雄訳 1982 フォーカシング 福村出版)
- Gendlin, E. T. 1996 Focusing-Oriented Psychotherapy. Guilford. (村瀬孝雄・池見 陽・日笠摩子監訳 1998 フォーカシング指向心理療法 (上)―体験過程を促す聴き方―, フォーカシング指向心理療法 (下)―心理療法の統合のために― 金剛出版)
- 畠瀬 稔 1990 エンカウンター・グループと心理的成長 創元社
- 畠瀬直子・畠瀬 稔・村山正治編 1986 カール・ロジャーズとともに 創元社
- 畠瀬 稔・水野行範・塚本久夫編 2012 人間中心の教育―パーソンセンタード・アプローチによる教育の再生をめざして― コスモス・ライブラリー
- Hinterkopf, E. 1998 Integrating Spirituality in Counseling: A manual for using the experiential focusing method. American Counseling Association. (日笠摩子・伊藤義美訳 2000 いのちとこころのカウンセリング―体験的フォーカシング法― 金剛出版)
- 坂坂 亨・浅井直樹 2004 日本におけるクライアント中心療法 村瀬孝雄・村瀬嘉代子編 ロジャーズークライエント中心療法の現在― 日本評論社, 第14章, 222-233.
- 飯塚銀次・関口和夫編 1977 カウンセリング代表事例選 学苑社
- 池見 陽 1995 心のメッセージを聴く―実感が語る心理学― 講談社
- 池見 陽・L. ラバポート・三宅麻希 2012 アート表現のこころ―フォーカシング指向アートセラピー体験 etc.― 誠信書房
- 伊東 博編訳 1960-1965 カウンセリング論集 (全4巻) 誠信書房
- 伊東 博 1966 カウンセリング入門 誠信書房
- 伊藤義美 2000 フォーカシングの空間づくりに関する研究 風間書房
- 伊藤義美・増田 實・野島一彦編 1999 パーソンセンタード・アプローチ―21世紀の人間関係を拓く― ナカニシヤ出版
- 伊藤義美・高松 里・村久保雅孝編 2011 パーソンセンタード・アプローチの挑戦―現代を生きるエンカウンターの実例― 創元社
- 泉野淳子 2004 日本における C. R. ロジャーズの導入とその広がり方 日本心理学会第68回大会ワークショップ「日本における臨床心理学の導入と受容過程」資料
- 吉良安之 2010 セラピスト・フォーカシング―臨床体験を吟味し心理療法に活かす― 岩崎学術出版社
- Kirschenbaum, H. & Henderson, V. L. (Eds.) 1989 The Carl Rogers Reader. Houghton Mifflin. (伊東 博・村山正治監訳 2001 ロジャーズ選集―カウンセラーなら一度は読んでおきたい厳選33論文― [全2巻] 誠信書房)
- Klein, J. 2001 interactive Focusing Therapy: Healing Relationships. Evanston. (諸富祥彦監訳 2005 インタラクティブ・フォーカシング・セラピー―カウンセラーの力量アップのために― 誠信書房)
- 近藤邦夫・保坂 亨・無藤清子・鈴木乙史・内田純平編 2007 臨床家 佐治守夫の仕事1 [全3巻] 明石書店
- 久能 徹 1996 ロジャーズとロジャーリアン 日本カウンセリングセンター
- 久能 徹・末武康弘・保坂 亨・諸富祥彦 1997 ロジャーズを読む 岩崎学術出版社
- 教育と医学編 1970 特集・来談者中心療法 教育と医学, 18(1), 2-76.
- McEvenue, K. & Doi, A. 2002 Dancing the Path of the Mystic'. printrd privately. (土井晶子訳 2004 ホールボディ・フォーカシング―アレクサンダー・テクニークとフォーカシングの出会い― コスモス・ライブラリー)
- Mearns, D. & Thorne, B. 1988 Person-Centred Counselling in Action. Sage Publications. (伊藤義美訳 2000 パーソンセンタード・カウンセリング ナカニシヤ出版)
- Mearns, D. 1994 Developing Person-Centred Counselling. Sage Publications. (岡村達也・林 幸子・上嶋洋一・山科聖加留訳 2000 パーソンセンタード・カウンセリングの実例―ロジャーズのアプローチの新たな展開― コスモス・ライブラリー)

- 諸富祥彦・村里忠之・末武康弘編 2009 ジェンドリン哲学入門—フォーカシングの根底にあるもの— コスモス・ライブラリー
- 村瀬孝雄・村瀬嘉代子編 1997 特別企画：ロジャーズクライアント中心療法の現在— こころの科学, 74, 日本評論社 [2004 に書籍化]
- 村山正治 1971 クライアント中心療法の臨床的適用 岩崎学術出版社
- 村山正治 1993 エンカウンターグループとコミュニティーパーソンセンタードアプローチの展開— ナカニシヤ出版
- 村山正治編 1977 エンカウンターグループ (講座心理療法第7巻) 福村出版
- 村山正治編 1991 フォーカシング・セミナー 福村出版
- 村山正治編 1999 フォーカシング 現代のエスプリ, 382, 至文堂
- 村山正治編 2003 ロジャーズ学派の現在 現代のエスプリ別冊, 至文堂
- 村山正治・増井武士・池見 陽・大田民雄・吉良安之・茂田みちえ 1984 フォーカシングの理論と実際 福村出版
- 村山正治・見藤隆子・野島一彦・渡辺 忠編 1991 エンカウンター・グループから学ぶ—新しい人間関係の探求— 九州大学出版会
- 村山正治・中田行重編 2012 新しい事例検討法 PCAGIP 入門—パーソン・センタード・アプローチの視点から— 創元社
- 日本カウンセリング・センター編 2009 友田不二男研究—日本人の日本人による日本人のためのカウンセリング— 日本カウンセリング・センター
- 日本カウンセリング学会編 1988 特集：カール・ロジャーズ カウンセリング研究, 20(2), 87-127.
- 日本人間性心理学会編 1992 特集：クライアント中心療法の新しい展開とその課題 人間性心理学研究, 10(1), 3-56.
- 日本相談学会編 1971 特集：来談者中心療法ケースレポート 相談学研究, 4(2), 114-126.
- 人間関係研究会編 1987 カール・ロジャーズ追悼号 人間関係研究会「ENCOUNTER 出会いの広場」, 5.
- 人間関係研究会編 1992 特集：わが国における来談者中心療法の発展と評価 人間関係研究会「ENCOUNTER 出会いの広場」, 15, 1-26.
- 岡村達也 1999 カウンセリングの条件—純粋性・受容・共感をめぐって— 垣内出版
- 岡村達也・小林孝雄・菅村玄二 2010 カウンセリングのエチュード—反射・共感・構成主義— 遠見書房
- 小野京子 2005 表現アートセラピー入門—絵画・粘土・音楽・ドラマ・ダンスなどを通して— 誠信書房
- 小野京子 2011 癒しと成長の表現アートセラピー 岩崎学術出版社
- Prouty, G. 1994 Theoretical Evolutions in Person-Centered/Experiential Therapy: applications to schizophrenic and retarded psychoses. Connecticut: Praeger Publishers. (岡村達也・日笠摩子訳 2001 プリセラピー—パーソン中心 / 体験過程療法から分裂病と発達障害への挑戦— 日本評論社)
- Purton, C. 2004 Person-centred therapy: the focusing-oriented approach. Palgrave Macmillan. (日笠摩子訳 2006 パーソン・センタード・セラピー—フォーカシング指向の観点から— 金剛出版)
- Rogers, C. R. 1942 Counseling and Psychotherapy. Houghton Mifflin. (友田不二男訳 1951 ロージャーズ臨床心理学 創元社 [I-IIIのみ], 末武康弘・保坂 亨・諸富祥彦共訳 2005 カウンセリングと心理療法 [ロジャーズ主要著作集第1巻] 岩崎学術出版社, [ロージャーズ選集, 全集にも分収されている])
- Rogers, C. R. 1951 Client-Centered Therapy. Houghton Mifflin. (保坂 亨・諸富祥彦・末武康弘共訳 2005 クライアント中心療法 [ロジャーズ主要著作集第2巻] 岩崎学術出版社, [ロージャーズ選集, 全集にも分収されている])
- Rogers, C. R. 1961 On Becoming a Person. Houghton Mifflin. (諸富祥彦・末武康弘・保坂 亨共訳 2005 ロジャーズが語る自己実現の道 [ロジャーズ主要著作集第3巻] 岩崎学術出版社, [ロージャーズ全集にも分収されている])
- Rogers, C. R. (友田不二男他訳) 1955-1964 ロージャーズ選書 (全7巻) 岩崎書店
- Rogers, C. R. (友田不二男他編訳) 1966-1972 ロージャーズ全集 (全23巻) 岩崎学術出版社
- Rogers, C. R. 1970 Carl Rogers on Encounter Groups. Harper & Row. (畠瀬 稔・畠瀬直子訳 1973 エンカウンター・

- グループ人間信頼の原点— ダイヤモンド社 [新版 1983, 2007 創元社より]
- Rogers, C. R. 1972 *Becoming Partners: Marriages and its Alternatives*. Delacorte Press. (村山正治・村山尚子訳 1982 結婚革命 サイマル出版会)
- Rogers, C. R. 1977 *Carl Rogers on Personal Power*. Delacorte Press. (畠瀬 稔・畠瀬直子訳 1980 人間の潜在力— 個人尊重のアプローチ— 創元社)
- Rogers, C. R. 1983 *Freedom to Learn for the 80's*. Bell & Howell Company. (友田不二男他監訳 1984-1985 新・創造への教育 (全3巻) 岩崎学術出版社)
- Rogers, C. R. (畠瀬直子監訳) 1984 「人間尊重の心理学—わが人生と思想を語る—」 創元社 [新版 2007]
- Rogers, C. R. & Freiberg, H. J. 1994 *Freedom to Learn Third Edition*. Prentice Hall (畠瀬 稔・村田 進訳 2006 学習する自由 (第3版) コスモス・ライブラリー)
- Rogers, C. R. & Russell, D. E. 2002 *CARL ROGERS: THE QUIET REVOLUTIONARY*. Penmarin Books. (畠瀬直子訳 2006 カール・ロジャーズ 静かなる革命 誠信書房)
- Rogers, N. 1993 *The Creative Connection: Expressive Arts as Healing*. Science & Behavior Books Inc. (小野京子・坂田裕子編 表現アートセラピー—創造性に開かれるプロセス— 誠信書房)
- 坂中正義 1998 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト —ロジャーズ選書及び全集— 九州大学心理臨床研究, 17, 113-121.
- 坂中正義 1998 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト (~1969) 福岡教育大学「心理教育相談研究」, 2, 9-31.
- 坂中正義 1998 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト (1970~1974) 福岡教育大学「教育実践研究」, 6, 81-88.
- 坂中正義 1998 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト (1975~1979) 福岡教育大学「教育実践研究」, 6, 89-98.
- 坂中正義 1999 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト (1980~1984) 福岡教育大学紀要 (教職科編), 48, 195-214.
- 坂中正義 1999 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト (1985~1989) 福岡教育大学「教育実践研究」, 7, 115-132.
- 坂中正義 1999 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト (1990~1994) 福岡教育大学「心理教育相談研究」, 3, 13-51.
- 坂中正義 2000 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト (1995~1999) 福岡教育大学「心理教育相談研究」, 4, 13-55.
- 坂中正義 2001 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト (2000) 福岡教育大学「心理教育相談研究」, 5, 23-56.
- 坂中正義 2002 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト (2001) —第I部: 来談者中心療法— 福岡教育大学「心理教育相談研究」, 6, 51-68.
- 坂中正義 2002 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト (2001) —第II部: ベーシック・エンカウンター・グループ, 第III部: 体験過程療法・フォーカシング, 第IV部: その他— 福岡教育大学「心理教育相談研究」, 6, 69-85.
- 坂中正義 2003 日本の文献展望 村山正治編 現代のエスプリ別冊 ロジャーズ学派の現在 至文堂, 236-248.
- 坂中正義 2003 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト (2002) 福岡教育大学「心理教育相談研究」, 7, 1-22.
- 坂中正義 2004 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト (2003) 福岡教育大学「心理教育相談研究」, 8, 31-50.
- 坂中正義 2005 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト (2004) 福岡教育大学「心理教育相談研究」, 9, 17-36.

- 坂中正義 2006 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト(2005) 福岡教育大学「心理教育相談研究」, 10, 1-24.
- 坂中正義 2007 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト(2006) 福岡教育大学「心理教育相談研究」, 11, 1-20.
- 坂中正義 2008 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト(2007) 福岡教育大学「心理教育相談研究」, 12, 1-24.
- 坂中正義 2009 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト(2008) 福岡教育大学「心理教育相談研究」, 13, 9-29.
- 坂中正義 2010 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト(2009) 福岡教育大学「心理教育相談研究」, 14, 27-50.
- 坂中正義 2011 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト(2010) 福岡教育大学「心理教育相談研究」, 15, 29-50.
- 坂中正義 2012 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト(2011) 福岡教育大学「心理教育相談研究」, 16, 1-20.
- 坂中正義 2013 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト(2012) 福岡教育大学「心理教育相談研究」, 17, 1-23.
- 坂中正義 2014 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト(2013) 南山大学人間関係研究センター紀要「人間関係研究」, 13, 231-255.
- Sanders, P. (Ed.) 2004 *The Tribes of the Person-Centred Nation: An introduction to the schools of therapy related to the person-centred approach.* PCCS Books. (近田輝行・三國牧子監訳 2007 パーソンセンタード・アプローチの最前線—PCA 諸派のめざすもの— コスモス・ライブラリー)
- Stapert, M. & Verliefde, E. 2008 *FOCUSING WITH CHILDREN: The Art of Communicating with Children at School and at Home* (天羽和子監訳矢野キエ・酒井久実代訳 2010 子ども達とフォーカシング—学校・家庭での子ども達との豊かなコミュニケーション— コスモス・ライブラリー)
- 田畑 治編 1998 *クライアント中心療法 現代のエスプリ*, 374, 至文堂
- 田畑 治・村山正治編 1977 *来談者中心療法 (講座心理療法第1巻)* 福村出版
- Thorne, B. 1992 *Carl Rogers.* Sage Publications. (諸富祥彦監訳 上嶋洋一・岡村達也・林 幸子・三國牧子訳 2003 *カール・ロジャーズ* コスモス・ライブラリー)
- 友田不二男 1952 *面接法の技術—ガイダンスのための—* 金子書房
- 友田不二男 1956 *カウンセリングの技術—来談者中心法による—* 誠信書房
- Tuder, K. & Merry, T. 2002 *Dictionary of Person-Centred Psychology.* Whurr publishers. (岡村達也監訳 2008 *ロジャーズ辞典* 金剛出版)
- 氏原 寛・村山正治共編 2000 *ロジャーズ再考—カウンセリングの原点を探る—* 培風館